

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成23年8月11日

【四半期会計期間】 第61期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

【会社名】 福留ハム株式会社

【英訳名】 FUKUTOME MEAT PACKERS, LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中島修治

【本店の所在の場所】 広島市西区草津港二丁目6番75号

【電話番号】 082(278)6161(代表)

【事務連絡者氏名】 経理支援部長 明石嘉典

【最寄りの連絡場所】 広島市西区草津港二丁目6番75号

【電話番号】 082(278)6161(代表)

【事務連絡者氏名】 経理支援部長 明石嘉典

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第1四半期連結 累計期間	第61期 第1四半期連結 累計期間	第60期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	7,234,196	7,301,343	29,682,546
経常利益 (千円)	155,755	171,858	614,686
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失( ) (千円)	83,292	127,980	111,223
四半期包括利益又は包 括利益 (千円)	70,203	138,918	96,849
純資産額 (千円)	4,368,853	4,561,001	4,472,263
総資産額 (千円)	18,004,063	17,826,783	17,385,129
1株当たり四半期(当 期)純利益金額又は四半 期純損失金額( ) (円)	4.91	7.66	6.63
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	24.3	25.6	25.7

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第60期及び第61期第1四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第60期第1四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4 第60期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度における有価証券報告書「第2 事業の状況4 . 事業等のリスク」に記載の事項から重要な変更はありません。

(東日本大震災による影響)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災後の原発被害等の影響により、放射能汚染による出荷制限や風評被害などが発生するリスクがあります。これらが発生した場合には、生産及び販売量の減少などにより当社グループの業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～6月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災により、企業の営業活動や個人消費の減退などから厳しい状況が続くとともに、原発事故収束の見通しがたかない等、先行き不透明な環境が続いております。

当業界におきましては、国内食肉相場の回復が一部で見られたものの、消費者の節約志向や市場競争激化による加工食品価格の下落が続く等、依然として厳しい環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、コンプライアンスを重視した社員教育の実施及び経営理念の浸透を図ってまいりました。さらに、当社グループ全体のスキルアップを目的とするイノベーションに取り組んでまいりました。販売に関しましては、「ソースが決めてのおいしいハンバーグ」の販売強化を図るとともに、当社のブランド商品であります「ロマンティック街道シリーズ」のキャンペーンとして平成23年6月より当社ホームページでクローズド懸賞を実施するなど、商品のアピールに努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、73億1百万円(前年同四半期比0.9%増)となりました。利益につきましては、営業利益は1億59百万円(前年同四半期比1.7%減)、経常利益は1億71百万円(前年同四半期比10.3%増)、四半期純利益は1億27百万円(前年同期は83百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 加工食品事業

加工食品事業につきましては、消費者の節約志向や市場競争激化により加工食品価格の下落が続くなか、「ソースが決めてのおいしいハンバーグ」が好調に推移しました。

その結果、売上高は34億54百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

#### 食肉事業

食肉事業につきましては、国内食肉相場の回復が一部で見られたものの消費者の節約志向等の影響もあり国内食肉は前年を下回りました。輸入ミートにつきましては販売強化を図ったこともあり前年を上回りました。

その結果、売上高は38億46百万円(前年同期比0.0%増)となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億41百万円増加の178億26百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億69百万円増加の82億86百万円となりました。主な要因は、現金及び預金1億74百万円、商品及び製品1億60百万円及び原材料及び貯蔵品81百万円の増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ27百万円減少の95億39百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の減価償却実施額等38百万円の減少等によるものであります。

### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億52百万円の増加の132億65百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ4億73百万円増加の96億72百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金3億18百万円、未払金2億70百万円等の増加と賞与引当金1億7百万円の減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億20百万円減少の35億93百万円となりました。主な要因は、長期借入金1億32百万円の減少等によるものであります。

### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ88百万円増加の45億61百万円となりました。主な要因は、四半期純利益による利益剰余金77百万円の増加とその他有価証券評価差額金10百万円の増加等によるものであります。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は47百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の状況に重要な変更等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	68,000,000
計	68,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,000,000	17,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株 であります。
計	17,000,000	17,000,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年6月30日		17,000,000		2,691,370		1,503,937

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間のため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております

【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式296,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,590,000	16,590	
単元未満株式	普通株式 114,000		
発行済株式総数	17,000,000		
総株主の議決権		16,590	

【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 福留ハム株式会社	広島市西区草津港2丁目 6番75号	296,000		296,000	1.74
計		296,000		296,000	1.74

(注) 株主名簿上は、当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000(議決権1個)あります。  
 なお、当該株式数は上記【発行済株式】の「完全議決権株式(その他)」の欄に含めております。

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の変動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,485,814	3,659,837
受取手形及び売掛金	2,948,263	2,931,512
商品及び製品	884,119	1,044,177
仕掛品	49,136	65,990
原材料及び貯蔵品	315,979	397,408
繰延税金資産	106,179	153,169
その他	34,659	41,341
貸倒引当金	6,524	6,521
流動資産合計	7,817,628	8,286,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,613,691	2,573,520
機械装置及び運搬具(純額)	432,148	421,002
土地	3,350,829	3,350,427
リース資産(純額)	293,904	309,917
その他	38,173	35,573
有形固定資産合計	6,728,747	6,690,442
無形固定資産		
電話加入権	21,201	21,201
その他	2,526	2,642
無形固定資産合計	23,727	23,843
投資その他の資産		
投資有価証券	1,487,723	1,514,044
出資金	85,067	85,067
敷金及び保証金	132,551	131,935
保険積立金	20,428	20,597
繰延税金資産	1,009,809	997,138
その他	264,922	262,197
貸倒引当金	185,476	185,398
投資その他の資産合計	2,815,025	2,825,582
固定資産合計	9,567,500	9,539,868
資産合計	17,385,129	17,826,783

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,312,981	2,631,065
短期借入金	5,857,350	5,854,850
未払金	451,872	722,226
未払費用	86,738	89,464
未払法人税等	128,931	139,146
賞与引当金	216,843	109,206
リース債務	72,962	79,564
その他	70,792	46,669
流動負債合計	9,198,472	9,672,192
固定負債		
長期借入金	1,466,500	1,334,100
退職給付引当金	1,766,515	1,767,673
役員退職慰労引当金	215,926	216,581
リース債務	225,390	235,126
その他	40,060	40,108
固定負債合計	3,714,393	3,593,589
負債合計	12,912,865	13,265,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691,370	2,691,370
資本剰余金	1,503,937	1,503,937
利益剰余金	298,158	376,029
自己株式	73,862	73,932
株主資本合計	4,419,603	4,497,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,675	62,607
その他の包括利益累計額合計	51,675	62,607
少数株主持分	984	989
純資産合計	4,472,263	4,561,001
負債純資産合計	17,385,129	17,826,783

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,234,196	7,301,343
売上原価	5,825,622	5,888,233
売上総利益	1,408,573	1,413,110
販売費及び一般管理費	1,246,062	1,253,427
営業利益	162,511	159,682
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,322	12,357
不動産賃貸料	4,898	16,307
その他	8,407	13,604
営業外収益合計	26,628	42,269
営業外費用		
支払利息	32,907	29,775
その他	478	318
営業外費用合計	33,385	30,094
経常利益	155,755	171,858
特別利益		
固定資産売却益	-	4,822
収用補償金	-	38,570
特別利益合計	-	43,392
特別損失		
投資有価証券評価損	145,312	-
固定資産除却損	139	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,656	-
特別損失合計	161,107	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	5,352	215,251
法人税、住民税及び事業税	131,544	133,264
法人税等調整額	53,607	45,998
法人税等合計	77,936	87,265
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	83,288	127,985
少数株主利益	3	4
四半期純利益又は四半期純損失( )	83,292	127,980

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	83,288	127,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,085	10,932
その他の包括利益合計	13,085	10,932
四半期包括利益	70,203	138,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,206	138,913
少数株主に係る四半期包括利益	3	4

【継続企業の前提に関する事項】

当第1四半期連結会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	109,221千円	107,908千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月14日 取締役会	普通株式	84,762	5	平成22年3月31日	平成22年6月4日	利益剰余金

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月13日 取締役会	普通株式	50,110	3	平成23年3月31日	平成23年6月10日	利益剰余金

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,388,179	3,846,017	7,234,196
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	3,388,179	3,846,017	7,234,196
セグメント利益	177,732	106,740	284,473

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	284,473
全社費用(注)	121,961
四半期連結損益計算書の営業利益	162,511

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,454,821	3,846,522	7,301,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	3,454,821	3,846,522	7,301,343
セグメント利益	185,540	87,347	272,888

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	272,888
全社費用(注)	113,205
四半期連結損益計算書の営業利益	159,682

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ( )(円)	4.91円	7.66円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	83,292	127,980
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ( )(千円)	83,292	127,980
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,952	16,703

(注) 1. 前第1四半期連結累計期間において潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第1四半期連結累計期間において潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成23年5月13日開催の取締役会において、平成23年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	50,110千円
1株当たりの金額	3円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成23年6月10日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月10日

福留八ム株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 世 良 敏 昭

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中 原 晃 生

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている福留八ム株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、福留八ム株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。